

団感染が発生した場合など、感染拡大の危険性が高いと判断した場合には、防災無線での注意喚起をさせていただくことを考えている。

## 質問

### 中頓別学園事業には単独での町民アンケート実施を

町民の皆さんが今もつとも注目しているのは、この学校建設の行く末であると感じるが、その予算額などの現実的な面に関しては、いまだに多くの町民の方々にとって、行政の情報発信からでは知り得ない状態にあると思われる。これまでも一般質問や常任委員会調査の中で提案させていただいた町民アンケートを実施する考えはないのか。

工事費で35億円という額もさることながら、基本設計と実施設計を合わせた設計費だけでも2億円を優に超え、先日の全員協議会では実際に建設された場合の税込みの総工費としては40億円ともなり、それに対する起債の額も20億円から32億円とする新たな想定も示されたが、中頓別町にとっては前段階ですでに住民投票を求められてもおかしくないほどの規模であり、総合計画という町の10年間の計画に町民アンケートを用いているのに、今後1000年の学び舎を構築することに対して、

アンケートを実施しない選択肢もないように思うが、この点いかがか。

加えて、前回伺った町民負担の関係についても、学園事業に連動した新たな基金を短期間で積み立てることの不公平感は町長も認めておられたが、現世代だけで負担するような形をとるとの考えに変わりはないのか。

また、実際にこれほどの規模になった場合、町内の事業者が関わるハードルも高くなり、町としての経済効果も薄くなるという見方もあるようなので、この点も含めて伺う。

## 答 弁 ○相座教育長

アンケートを実施すべきというご提案については、これまでワークショップを含め様々な方法を重ねてより幅広く町民のご意見を聞かせて頂いてきたと認識しているが、最終的にまとまった案について、これまでの経過や財源、将来的な見通しを含めて説明させて頂く機会を設けていきたいと考えている。事業費については、最大限補助金の活用や卒業生等に寄付をお願いすることを含め起債額を抑える努力をしつつ、その償還については今後予定される事業を含めた中長期的な視点に立って計画を立てていきたいと考えている。

建設工事や物品の調達については、町内事業者にも努力していただきつつ、町内での経済効果を高められるよう町

としてできることに努めていきたいと考えている。

## 答 弁 ○小林町長

町として、今後も町民アンケートの実施を含め、より広く町内の意見や理解を得ることを惜しまないための取組を検討していきたいと思う。

町民負担の関係については、今後も病院や介護施設などにおいて、大きな工事を要する可能性はあるが、現時点においては、学校建設における過疎債の借入額を20億円から32億円増額し、仮にその償還に対する短期間での基金積み立てを行わないとした場合でも、実質公債費比率としては、最大でも3%台で推移するという状況も含め、将来に対する町民への過度な負担や不安の解消についても検討を重ねていく考えである。



## 質疑・質問は 要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

## ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ

(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから

[中頓別町について](#) ⇒ [中頓別町議会](#)

又は [行政情報](#) ⇒ [議会](#) へ進みご覧ください。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel6-2244 (議会事務局) へ。

# 報 告 事 項

※ 町が出資する法人等は、毎年度、経営状況を議会に報告しなければなりません。

## 報告第3号 有限会社中頓別振興公社の経営状況報告

寿レクリエーション施設、一般廃棄物処理施設、鍾乳洞ふれあい公園、国保病院管理清掃、有害鳥獣処理施設業務等を営む同社全体の令和4年度決算状況は次のとおりです。

当期純利益が1,676,035円となりました。

### ●損益計算結果、貸借対照表

・収益合計	87,042,176円
・費用合計	84,933,293円
・営業利益	2,108,883円
・当期純利益	1,676,035円
・資産合計	29,729,960円
・負債合計	4,402,244円
・純資産合計	25,327,716円



有限会社中頓別振興公社

※ 繰越明許費（くりこしめいきよひ）は、予算に計上されているが、年度内に支出が終わらないと見込まれるものについて、予算に定めることにより、翌年度に繰り越して支出することができるものです。

## 報告第1号 令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

（単位：千円）

事業名	繰越金額
環境保全活動推進事業	2,882
中頓別弥生線交付金事業	104,000
公営住宅維持管理事業	786
危険廃屋解体撤去助成事業	1,030
特別会計繰出金事業	48,900
合計	157,598

## 報告第2号 令和4年度水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

（単位：千円）

事業名	繰越金額
簡易水道等施設整備費 国庫補助事業	124,229
合計	124,229

※ 令和4年度から令和5年度に上記事業予算が繰り越されました。

名寄までのちよつとした用事で車を走らせていると、視界に入ってくる風景は大型機械が縦横に走りまわり草刈りが行われている。この季節には欠かせない風物詩ともいえる。

雪解け直後から遅霜が心配され、肌寒い日が続き作柄が心配されたが、今年の1番草はそこその出来らしい。あとは天気次第で出来の良さが決まる。ほどなく名寄に近づくと車窓の風景が代わりすくすくと伸びた稲の生育が目に移ってきた。

昭和の前半に生まれた私は、最近では生きてきた道を思いめぐらすことが多くなってきた。遠い過去はもちろん、1年前、1か月前、1週間前のことすら、すぐには思い出すことができない。その時は必死にもがいて何日も思い悩み、やつとの思いで結論を出し次へのステップを踏んだはずだ。

ここまで生きてくるとそんな苦い経験も時間は優しくオブラートに包んで都合よく忘れさせてくれる。それがなくとたくさんの思い出に押しつぶされてしまっている。少なくとも私はそうだ。

・・・ここからは楽しい思い出を心に詰め込んで生きようと決めた。人生100年としたらまだそこまでは時間がある。たくさん楽しんで生きようと思う。空を見上げると今日も雲一つない青空が広がっている。

（綴人・西浦岩雄）

議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて思いを綴るものです。

## 議会の動き

### 5月

- 9日 全員協議会
- 12日 第3回臨時議会
- 13日 クリーン作戦
- 15日 宗谷管内町村議会議長会定期総会  
(稚内市)
- 19日 南宗谷消防組合議会(枝幸町)  
南宗谷衛生施設組合議会(浜頓別町)
- 21日 中頓別消防団春季消防演習
- 22日～24日  
町村議会議長・副議長研修会(東京都)
- 29日 宗谷管内町村議会議員研修会(幌延町)

### 6月

- 4日 鍾乳洞芝桜まつり
- 9日 議会運営委員会  
全員協議会
- 12日 議会運営委員会
- 15日 北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)
- 22日～23日  
第2回定例会

### 7月

- 4日～5日  
町村議会議員研修会(札幌市)
- 13日 議会広報編集特別委員会
- 19日 町村議会新任議員研修会(札幌市)
- 21日 天北地域生活交通確保対策協議会総会  
(浜頓別町)
- 27日 議会広報編集特別委員会  
全員協議会

発行 中頓別町議会  
編集 議会広報編集特別委員会  
お問合せ 〒098-5595  
北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6  
tel (01634) 6-2244 (直通)  
fax (01634) 6-1155

## 全道町村議会議員研修会報告

7月4日、北海道町村議会議員研修会が札幌コンベンションセンターで、全道の町村議会から議員、事務局職員合わせ総勢約1,800人が参加して開催されました。当町議会からも全議員及び事務局職員が参加しました。

本年は、「ウクライナ危機後の世界と日本」と題し元防衛大学校校長の五百旗頭真氏より、現在のロシアによるウクライナ侵攻に至るまでの国際的背景を元にした経緯の説明、プーチン大統領の考えているであろうロシアという国家の在り方についての見解を述べられました。

次に、「日本政治の舞台裏」と題して政治ジャーナリストの田崎史郎氏より国政の現在の状況、特に自民党の派閥争いについて過去から現在に至るまで、田崎氏の経験や取材を通じた田崎氏の目線による見解を含めた説明がありました。

最後に、田崎氏と親しい間柄であった安倍元首相の政治家としての人柄について語られました。(報告者：蓮尾純一)



町村議会議員研修会の様子

## 編集後記

夏至も過ぎ本格的な夏が来て、気温も25度を超える日が増え、特に熱中症や食中毒など、体調管理に気を付ける時期が来ました。

新型コロナウイルスの感染症、法上の位置付けも2類から5類に移行して1か月が経ち町の行事もコロナ前の開催内容に戻りつつあります。

6月に入り中学校・認定こども園・小学校とそれぞれ運動会が開催され、観覧についての制限もなくなりました。小学校・中学校は雨のためそれぞれ一日延期となり開催されましたが、児童生徒数も少ない中、競技役員と選手との二刀流を最後まで元気に一生懸命に取り組んでいました。全力での競技の後に息を切らせながら放送マイクに向かう姿がとても印象的でした。

認定こども園の運動会では、保護者や祖父母も参加しての開催で、好天に恵まれ熱中症の心配もありましたが、朝から園児たちの元気いっぱいな姿が見られ、徒競走や遊戯、親子競争や団体競技に参加された皆さんが一生懸命に取り組んでいました。

最後の紅白リレーも、力いっぱい走り切って、悔しさで泣いてしまう園児もいてほほえましく声援させていただきました。